

関内陵苑は、皆様方の葬儀費用の御負担を軽減するために過剰な広告宣伝費等を控え、さらに諸経費を節約し、皆様方へよりきめ細やかで充実したサービスを心がけております。

4月20日の葬儀セミナーは、午前の部・午後の部ともに大盛況でした。御臨終を迎えてから関内典礼に葬儀依頼をするまでの流れを、横浜総合管理株式会社の社員が不慣れな演技ですが、寸劇仕立てで皆様に披露させて頂き、故人役の方にはプロのメイクを施し、実際の葬儀の流れを実演致しました。その後、皆様方の疑問をお受けしました。やはり実際に皆様とお話をさせていただいて、疑問・要望などを伺いますと私ども関内典礼スタッフも「なるほど」こういう不安を抱えていらっしゃるのかと考えさせられました。6F三宝閣での通夜料理の試食会は、4社（うお太、泉仙、松阪、武夷菜館）それぞれの食べ競べです。皆様から「美味しかったです」との大変うれしいお言葉をいただきました。今後も様々なイベントを発信してまいりますので宜しくお願い致します。



寸劇



御納棺



食事会場

セミナーの質疑応答（一部ですがご紹介いたします。）

Q. 横浜市以外に居住しておりますが、関内陵苑で葬儀をすることが出来ますか？

A. はい、出来ます。関内陵苑で葬儀をした後、横浜市の火葬場へ参りますので市外の方は火葬料金が5万円になります。（横浜市内の方は 火葬料1万2千円）

Q. 病院で家族がなくなった場合、何をすれば宜しいでしょうか？

A. はい、まず関内典礼（0120-4194-52）に御連絡下さい。どちらへ御安置するかを伺います。御自宅の場合は、毎日ドライ巾を交換致します。清潔な布団にお寝かせし、弔問客に備え御準備致します。関内陵苑に御安置する場合は、保冷庫がございますのでご安心ください。（面会時間は午前10時～午後7時まで）

Q. お葬式は必ずやらなければいけないのでしょうか？

A. 式は必ずということではありませんが、火葬（埋葬）は必ずしなくてはなりません。お葬式は、故人の霊を慰め供養するという宗教儀礼としての処置（鎮魂）、次にご遺体を火葬するという物理的な処置、そして故人と関係のあった方々へお知らせしお別れしていただくという社会的な処置。葬儀は悲しみを乗り越えるための大切なプロセスでもあります。ご遺体を荼毘（だび）に臥すことによって大切な人が亡くなったことを現実として受け止めることができ、また故人の霊を慰め供養し、集まった親族や友人と悲しみを共有し慰め合うことによって、心がケアされていきます。葬儀という儀式を行うことで、死という大きな変化を受け止めて区切りをつけ、新しい生活への一歩を踏み出す足がかりとなるのです。

もうすぐお盆ですよ！

◆お盆は仏教に於ける盂蘭盆（ウランバナ）の行事—地獄の苦しみをうけている人々をこの世から供養することの功德によって、その苦しみを救いたいという行事と、昔からの「今の自分があるのは、ご先祖さまのお陰である」と感謝する先祖崇拝の心が合体したものです。

◆お盆（盂蘭盆会・うらぼんえ）は、先祖や亡くなった人たちが苦しむことなく成仏してくれるようにと、私たち子孫が、報恩の供養をする時なのです。

お墓参りになかなか行けない人も、日頃のお礼の気持ちをご先祖様に伝えるいい機会です。

地方によってその日程、盆棚の飾付け方などは多少異なりますが、その心は同じです。

家の事情によってお仏壇を置いていない家庭も多いようですが、お盆の間だけでも先祖への気持ちを大切に、簡単なお飾りだけでも作りませんか？

- (1) 13日の夕方には門口で迎え火をたき、祖先の霊をお迎えします。
- (2) 期間中には、飲食の供養をし、きゅうり・なすで馬や牛を作って供えます。
- (3) 16日には、門口で送り火をたき御先祖様にお帰りいただきます。

